



「古屋まさお」とともに歩む

友雅会 ニュース

発行元：友雅会

〒405-0007
山梨県山梨市七日市場816-7
TEL 0553-23-6688
FAX 0553-22-3700
■編集責任者：古屋 雅夫
暑中お見舞い申し上げます。

6月定例
議会報告

小
子
化
・
人
口
減
少
対
策
、
今
後
の
大
き
な
政
策
課
題

望月市政初めての政策予算提示、 推進に期待する

6月定例会でも少子化・人口問題に関わる課題が取りあげられました。日本創生会議の提言では、国内の市町村の半分（896自治体）が消滅の危機を迎えることとなり、国土交通省においても、2050年には国内の6割の地域で人口が半減との見通しを示しました。2004年12月をピークに1億2千万人を越えていた人口が、他に類を見ない極めて急激な人口減少を迎えることになるのです。

現実問題として、本市においても国立社会保障・人口問題研究所「地域別将来推計人口」平成25年3月推計データによれば、26年後の2040年には、1万1千人減の2万5千人程度と予想されています。「まち」を形成していく上で、人口減少問題は今世紀最大の政治課題であると考えます。さらにこの問題は、無居住地域を生み、多様な日本文化の消滅、将来への期待が乏しい社会に繋がることも懸念されます。道路整備等のハード事業だけに重点を置くことなく、早い段階での少子化対策や定住促進の事業等を推進することが肝要であると考えます。イギリス、フランス、スウェーデンなど、欧州の幾つかの国においては、政策によって出生率が回復し、今後の人口増が期待されているケースもあります。

今、私たちは若い世代が将来に希望を抱ける社会創り、「元気な日本・住みよいまち山梨市」を将来世代に手渡す責任があると考えます。

これまで「古屋まさお」も「結婚・出産支援」、「子育て環境の整備」、「生活の安定を高める職と住まいの確保」など諸課題について政策提言をしてきました。

今回の議会では「子供医療費窓口無料化」実施、「託児所の保育時間の延長」なども今秋実現に向け検討されることとなりました。一つ一つ出来ることを実行し、国政に対しても政策提起していきたいと考えています。

今後の望月市政運営の手腕に期待します。



山梨市議会議員
古屋まさお

6月定例会は6月2日～26日まで開かれ、雪害対策等一般会計予算（補正額：37億4950万円余）が総額200億9950万円余、国の標準税率等の見直しによる「軽自動車税」、「小型特殊車両税」に関わる条例改正等6件が原案通り議決しました。また、「30人学級実現、義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書」の請願については賛成多数で可決し関係省庁に送付した。一方「特定機密保護法の廃止を求める意見書」他2件は反対多数で不採択となりました。

最終日に、議長、副議長の辞職に伴う選挙（指名）において、議長に古屋忠城議員（山友会）、副議長に木内健司議員（公明党）、議会選出の監査委員に雨宮巧（市民の会）を選出、同意した。

※ 記事は古屋まさお市議のメモであることから適切な表現、言葉足らずのところがありますがご容赦願います

6月議会概要(補正予算など)

農業関係

- ・雪害等の被害対策として
- ◇農業振興費22億7千万円余（補正予算の約61%）

- ①山梨共選所等再建事業規模 5億7800万円余
2億6230万円余（県費）、**※市の負担額等は検討中**
 - ②農業用ハウス撤去費関係（225件5033アール）
 - ・総事業費 2億9300万円余
 - ・国、県の補助 2億1980万円余、**※市の負担7330万円余**
 - ③再建（修繕を含む）
 - ・農家246件3639アール
 - ・総費用21億3330万円
 - ・国、県補助金14億8400万円 **※市の負担4300万円余**
 - ※ 自己負担分（原則1割）を控除
- （参考）山梨市の農業世帯2516件（2010年農林センサツ）うちハウス栽培農家295戸（JA調査）

環境整備関係

【新エネルギー・クリーンエネルギー事業】
三富支所に太陽光発電設置 2686万円（県費約80%）

古屋まさお市議の地域活動

5月30日は「ごみゼロの日」（ご（5）み（3）ゼロ（0）は美化活動とともに、ごみの減量化と再源化を促す啓発活動実施する記念日とされています。



市議会では毎年、市内の観光地域の道路等の清掃活動を行っています。今回は焼山峠、乙女高原、小檜山の林道および登山道の清掃を行いました。今年から小檜山1713m（牧丘町）は登山ガイドの派遣できる山としてPRしています。6月1日～11月24日まで塩山駅から焼山峠まで乗合バス2便が運行（予約制）しています。

↑ 観光振興・環境美化活動に取り組む

教育・民生関係

- ・中学3年生までの子供医療費窓口無料化（重度心身障害者は除く）1037万円（市単独事業）
 - ・小中学校エアコン設置事業・設計費等2250万円
施工は中学校3校（平成26年度）を行う
 - ・がん検診低調、検診で安心生活（無料クーポン券の活用を）
大腸がん検診：対象者40歳～60歳・5年刻み（受診率10.8%）
子宮がん検診：対象者20歳（受診率26.2%）
大腸ガン検診：対象者40歳（受診率23.4%）
- ※（受診率は平成23年度～25年度平均：市の目標50%）

防災・まちづくり関係

- 【橋梁長寿命化耐震化事業】
 - ・万力大橋の総事業費 2億380万円余
 - ・赤岩橋（三富）、新重川橋 2橋梁で約 1億4300万円
 - ※今回の3本の橋梁関係補正予算 1億860万円余
- 【南口整備事業】（平成26年度）8億760万円
南口広場・アクセス道路関係地権者保障（産科、学校関係は除く）、調査・アンケート費等。国：4億8400万円、地方債：3億680万円、他は一般財源。
- 【街燈のLED化の推進】
 - ・山梨小通学路等70燈を更改226万円余 内、補助金120万円
 - 今後は全地域拡大に向け区長会等と連携し要望していきたい。
- 【消防自動車の更改】
可搬型軽積載車3台を平成26年度末までに後屋敷地区（第2部・第3部・第4部消防団）に配備。1台あたり485万円～492万円余。

協働のまちづくりの推進

NPO活動をはじめ10年、今年も地元の八日市場保育園と「NPO法人都市農村交流支援センター」（以下NPO）の協働による「ちびっ子・農業体験さつまいもを育てる会」を今年も開催しました。5月26日に園児約50人と園の関係者・保護者会の皆さん、NPOスタッフの協力を頂き、さつまいも（紅あずま）約700本を植え付けました。

園児たちは小さな手を真っ黒にしながら植え付け作業を行い、「大きくなあれ、大きくなあれ」と声をかけ楽しそうに植え付けていました。秋に収穫、畑で焼き芋の会、保育園に持ち帰り給食やおやつとして食べることを楽しみにしていました。



↑ 八日市場保育園児とサツマ芋の植え付けを行う



★★★★★ 「友雅会ニュース」あとがき ★★★★★

お陰さまで「友雅会ニュース」も30号。今後も議会情報や地域活動等を発信していきます。▼7月12日から高速バスが市役所庁舎経由で運行します▼改選後、副議長として1年あまり、2月の大雪、旧庁舎関連・臨時議会対応、ならびに議会改革、学校給食施設に関する特別委員会設置等、多くの取り組みの中で貴重な経験をさせていただきました▼今年は「教育民生常任委員長」として市が抱える諸課題の進展に向け努力してまいります。 <http://www.e-masao.net/>